

2023(令和5)年度(公財)和歌山県人権啓発センター事業実施報告

1 学びの場の提供

6, 563, 064円

人権について学ぶことのできる場として、講演会、ワークショップ等の開催、講師の派遣を行うほか、誰もが自主的に学ぶことのできる人権ライブラリーを運営した。

①人権ライブラリー（閲覧室運営）

158, 992円

人権に関する図書、DVD、資料等を整備し、閲覧・貸出等の業務を行った。
令和5年度はマンガを中心にした図書、DVDを整備し充実を図った。（県補助事業）

*2024(令和6)年3月末現在の状況

書籍：5,332冊（うち点字図書104冊）
（漫画作品のラインナップ増強として約300冊追加）

DVD・VHS：548本

②人権を考える公開講座

215, 129円

県内各地域でセミナーやワークショップ形式の講座を開催し、人権に関わるNPO団体等との協働、連携を図った。（県委託事業）

○人権を取り巻く現状の課題等をテーマに下記のとおり開催した。

セミナー

（日時・場所）2023(令和5)年7月1日(土)14:00～15:30
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 1201会議室

（参加人数）21人

（演題）「『風の谷のナウシカ』を読む－人権の向こう側－」

（講師）稲葉 振一郎氏（明治学院大学 社会学部教授）

ワークショップ

（日時・場所）2023(令和5)年7月15日(土)14:00～16:00
有田市民会館 第1会議室(有田市)

（参加人数）17人

（演題）「こどもも権利があるんやて」

（講師）家本 めぐみ氏（一般社団法人toddleわかやま代表理事）

③人権感覚を育てよう

486, 659円

和歌山県が開発した大人もこどもも学べる「人権感覚を育てよう」プログラムを実践するための講師を広く養成するとともに、県内の幼稚園・保育所等を中心に、プログラムの普及と啓発手法の周知を図った。

○講師養成セミナー（県委託事業）

（日時・場所）第1回：2023(令和5)年6月29日(木)10:00～16:00 有田振興局(湯浅町)
第2回：2023(令和5)年6月30日(金)10:00～16:00 伊都振興局(橋本市)

（対象者）教諭・保育士等指導者

（参加人数）第1回：17人

第2回：28人

（内 容）幼児向け人権啓発プログラム「みんな、たいせつ」を各園等で実施できるファシリテーターを養成するため、講義とワークショップを実施する。

○出張講座

（開催場所）9/11三谷こども園(かつらぎ町)、9/11おひさまこども園(岩出市)、10/2しらゆり保育園(御坊市)、11/1和歌山認定こども園(和歌山市)、11/7金屋第三保育所(有田川町)、11/14宮崎町保育所(有田市)、11/15古江見保育所(有田市)、11/17橋本こども園(橋本市)、11/27山口こども園(和歌山市)、12/15ゆあさこども園(湯浅町) 計10園

（対象者）3～5歳児、教諭・保育士等、保護者

（参加人数）園児：261人、教諭・保育士・保護者等：41人、計302人

（内 容）幼児向け人権啓発プログラム「みんな、たいせつ」を訪問園にて実施する。

④人権・発見・体験教室

338,791円

高齢者の人権を正しく理解するための研修会と映画上映会を実施した。

(県委託事業)

(日時・場所) 2024(令和6)年1月27日(土)13:30~16:50
紀南文化会館 小ホール(田辺市)

(参加人数) 108人

(演題) 「ぼけますから、よろしく願います。～おかえりお母さん～」
映画上映会&信友直子さん講演会

(講師) 信友 直子氏(株式会社 信友家)

⑤インターネット上の人権侵害対策

2,228,000円

インターネット上における人権侵害防止のため、県民に対しインターネット上の問題点や正しい使い方についての啓発として、研修会及び講座を開催した。

(県委託事業)

○研修会の開催

(日時・場所) 2023(令和5)年12月5日(水)14:00~16:00

本会場：和歌山県民文化会館小ホール
サテライト会場：東牟婁振興局

(参加人数) 本会場：69人、サテライト会場：16人、計85人

(演題) 「言葉の責任ーネット上で被害者にも加害者にもならないためにー」

(講師) スマイリーキクチ氏

(一般社団法人インターネット・ヒューマンライツ協会)

○講座の開催

(場所) 第1回：2023(令和5)年8月23日(水)14:00~16:00

県民交流プラザ和歌山ビッグ愛(和歌山市)

第2回：2023(令和5)年8月23日(水)19:30~21:10

美浜町役場(美浜町) ※美浜町と共催

第3回：2023(令和5)年10月30日(月)13:30~16:30

那智勝浦町体育文化会館(那智勝浦町) ※県教育委員会と共催

第4回：2023(令和5)年12月2日(土)13:30~16:00

みなべ町ふれ愛センター(みなべ町) ※県教育委員会と共催

(参加人数) 第1回：21人

第2回：20人

第3回：87人

第4回：97人

(内容) ネット上での人権侵害について理解するための講演とワークショップ

新

⑥ヤングケアラーを理解するための講座

664,646円

本来大人がするべき家事や家族の世話など、負担を抱える子どもたちについて、現状と課題を理解するための講座を開催した。

(県委託事業)

○講座の開催(全3回)

(日時・場所) 第1回：2024(令和6)年2月16日(金)14:00~16:00

第2回：2024(令和6)年2月22日(木)14:00~15:30

第3回：2024(令和6)年2月29日(木)14:00~15:30

和歌山城ホール 大会議室

(参加人数) 第1回：56人

第2回：37人

第3回：59人

(演題・講師) 第1回：行政報告「ヤングケアラーに関する県の取組」

和歌山県福祉保健総務課

講演「本当に知っていますか?『ヤングケアラー』～正しい理解と地域でできること～」

濱島 淑恵氏

(大阪公立大学 現代システム科学研究科准教授)

第2回：講演「私が伝えたいこと～元・若者ケアラーとして」

三島 俊祐氏（特定非営利活動法人ふうせんの会）
第3回：講演「『当事者』って誰ですか？～こどもを主語にした支援を問う～」
木村 泰子氏（大阪市立大空小学校初代校長）

新

⑦人権啓発漫才ショー

427, 164円

難しいと敬遠されがちな「人権」というテーマを、笑って楽しめる漫才を通して知ってもらおう講座を開催した。（県委託事業）

○オシエルズ（矢島ノブ雄氏 野村真之介氏）による「真夏のわくわくお笑い教室」

<海南市>（日時・場所）2023（令和5）年8月26日（土）14:00～15:45

海南nobinosノビノスホール（海南市）

（参加人数）29人

<田辺市>（日時・場所）2023（令和5）年8月27日（日）14:00～15:45

和歌山県情報交流センターBig・U（田辺市）

（参加人数）30人

新

⑧アンガーマネジメントセミナー

530, 526円

アンガーマネジメント認定講師資格を持ったセンター職員による企業等におけるアンガーマネジメント研修の普及啓発のため、県内企業のハラスメント対策担当者等向けにセミナーを開催した。（県委託事業）

○アンガーマネジメントセミナー

（日時・場所）2023（令和5）年10月31日（火）14:00～16:00

和歌山県民文化会館 小ホール

（テーマ）監督が怒ってはいけない大会を開催した理由～指導者へのメッセージ～

（講師）益子直美氏（元バレーボール日本代表 日本スポーツ協会副会長）

（参加人数）277人

新

⑨人権ライブラリートークショー

498, 729円

差別や偏見と闘う作品など人権に関する問題提起がされている漫画作品のラインナップを増強するとともに、漫画を通して人権について考える講演会を開催した。（県委託事業）

○トークショー

（日時・場所）2024（令和6）年2月17日（土）13:30～15:00

公益財団法人和歌山県人権啓発センターライブラリー

（参加人数）23人

（演題）「マンガは偏見だらけ？！

～差別につながる読み方、知ってますか？～」

（講師）吉村和真氏（京都精華大学 専務理事、マンガ学部教授）

○漫画作品のラインナップ増強（301冊）

⑩人権啓発支援事業

613, 928円

中小企業の経営者及び研修担当者を対象に、企業の従業員一人ひとりが人権問題を正しく理解することで、誰もが公平・公正に働くことのできる職場づくりを支援するための講座を開催した。（中小企業庁委託事業）

（日時・場所）2023（令和5）年9月6日（水）13:30～16:10

和歌山城ホール 4階大会議室（和歌山市）

（参加人数）63人

（演題）日本企業の新たな経営アジェンダ「ビジネスと人権」

（講師）潮崎 真惟子氏（株式会社オウルズコンサルティンググループ マネジャー）

新

⑪アンガーマネジメント研修事業

378, 400円

企業に法的に義務づけられたハラスメント対策に寄与するため、センター独自で日本アンガーマネジメント協会認定資格を取得し、企業や団体に研修の必要性についての啓発を行うとと

もに、企業団体からの要請によりアンガーマネジメント研修を実施した。
(センター自主事業)

- 2024(令和6)年1月10日・23日 JA学園 (受講者16人)
- 2024(令和6)年2月14日・15日 紀の国はまゆう (受講者28人)
- 2024(令和6)年3月14日 有田ロータリークラブ (受講者25人)

⑫講演会の開催

22, 100円

(公財)人権教育啓発推進センター及び和歌山県と共催で講演会を開催した。
(センター自主事業)

- 講演会の開催
(日時・場所) 2024(令和6)年1月11日(木)14:00~15:30
和歌山県民文化会館(和歌山市)
- (参加人数) 31人
- (演題) 「ジェンダー平等について、一緒に考えてみませんか？」
- (講師) 三輪 敦子氏((一財)アジア・太平洋人権情報センター 所長)

⑬職員講師派遣

事業所、団体等が実施する研修会の講師としてセンター職員を派遣した。
(センター自主事業)

- JA学園 (7/27、8/28、9/5、1/10・23(再掲)、3/8・22)、
- (公社)和歌山県宅地建物取引業協会、(公社)全日本不動産協会、
- 和歌山マリーナシティ(株)(5/22・26)、和歌山県国民健康保険団体連合会(8/31)、
- 和歌山県教育庁(11/1・24、1/19)
- 紀の国はまゆう(2/14・15(再掲))、有田ロータリークラブ(3/14(再掲))

2 考えるきっかけと素材の提供

6, 103, 190円

各種作品募集・展示、啓発資料の配布等を通じて、人権について考えるきっかけと素材を提供するとともに、各種イベントやキャンペーン等を通じて人権の大切さを訴えた。

①人権ギャラリー(研修室)

63, 878円

さまざまな人権関係団体、グループ等の研修・学習会などに貸出を行った。
(県補助事業)

②啓発ポスター・人権の詩募集

216, 000円

人権に関するポスターや詩を募集し、優秀作品を表彰し、啓発活動の資料等として活用した。
(県委託事業)

- 人権啓発ポスターは、最優秀特別賞作品を「人権を考える強調月間」「同和運動推進月間」における啓発に活用した。
- 表彰式：和歌山県人権啓発活動ネットワーク協議会主催「人権のつどい」(丹鶴ホール)で開催
- 人権啓発ポスター・人権の詩を啓発資料として広く展示、教材としても活用した。

- ・啓発ポスター
応募総数 4,245点(小学生 2,660点、中学生 1,519点、高校生 66点)
入賞数 23点(最優秀賞 1点、優秀賞 2点、入選 小学生の部 12点、中学生の部 5点、
高校生の部 3点)
- ・人権の詩
応募総数 2,212点(小学生 226点、中学生 1,908点、一般(高校生) 78点)
入賞数 15点(知事賞 各部門 1点、理事長賞 小学生の部 4点、中学生の部 5点、
一般(高校生)の部 3点)

③人権を考える強調月間・同和運動推進月間

512,949円

強調月間及び推進月間に集中的に啓発活動を行うことにより、人権意識の高揚と同和運動の推進を図った。(県委託事業)

- 人権を考える強調月間 (期間) 11月11日～12月10日
(内容) 街頭啓発、啓発ポスター作成・配布
- 同和運動推進月間 (期間) 11月1日～11月30日
(内容) 街頭啓発、啓発ポスター作成・配布、講演会の開催
- 講演会
(日時・場所) 2023(令和5)年11月16日(木)14:00～16:00 ※オンライン配信
和歌山ビッグ愛 大ホール(和歌山市) (11/27～12/25)
(参加人数) 253人(会場118人、オンライン135人)
(演題) 近代社会における部落の歴史と今
(講師) 黒川 みどり氏(静岡大学教育学部教授)

④啓発資料の作成

1,174,283円

人権啓発のためのパンフレットや資料等を作成し、県民の方々をはじめ企業、各種団体、県の機関並びに市町村に提供し、自主学習や各種研修会等に活用した。(県委託事業)

- 「働くということー生きがい、働きがいとはー」<新規>

新

⑤親子でわくわくコンサート

1,103,522円

コンサートの合間に「音楽がこどもに与える影響」についての話を入れ、普段コンサート等に行く機会の少ない子育て世代の保護者の心を癒やすとともに、こどもの感性に影響を与え、特に発達に特徴のあるこどもの気持ちの安定を図った。

(県委託事業)

- (一社)和歌山フィルハーモニー管弦楽団によるコンサート及び関係者による講話
(場所) 県民交流センター和歌山ビッグ愛 大ホール(和歌山市)
(参加人数) 第1部(13:00～14:20)152人(大人79人、こども73人)
第2部(15:00～16:10)170人(大人92人、こども78人)
(講師) (一社)和歌山フィルハーモニー管弦楽団

新

⑥同和問題を考える特別事業

976,781円

和歌山県水平社100周年を機に、先人の歩みを振り返るとともに、部落差別についての理解を深めるため、講演会やパネル展、映画上映会を開催した。

(県委託事業)

- 講演会 (日時・場所) 2023(令和5)年11月25日(土)13:30～16:00
和歌の浦アートキューブ
(参加人数) 103人(会場:80人、オンライン:23人)
(講師) 友永健三氏
「全国水平社101年・和歌山県水平社100年の歴史から何を学ぶか？」

※「人権の詩」表彰式同時開催

- パネル展 (場所) 県庁、各振興局、人権啓発センター閲覧室
- 映画「破戒」上映会 (場所) かつらぎ総合文化会館、和歌山ビッグ愛
(参加人数) かつらぎ町75人、和歌山市179人、

新

⑦多様性体感事業(聴覚障害)

916,248円

相手の立場に立つという体験に重点を置き、ろう者や難聴者と一緒に謎解きをしながらゴールをめざす「異言語脱出ゲーム」を開催し、障害のある人の人権などについて理解を深めた。(県委託事業)

- 体験イベント ※(公社)和歌山県青少年育成協会主催「紀州っ子アドベンチャー」と共催
(日時・場所) 2023(令和5)年12月9日(土)10:00～11:30、13:00～14:30
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛(和歌山市)

(参加人数) 午前の部：15人、午後の部：33人、計48人
(演題) 「異言語脱出ゲーム～異言語空間への招待状 手話×謎解き～」
(ファシリテーター) 一般社団法人異言語Lab.

新

⑧多様性体感事業（視覚障害）

745,820円

県立美術館との協働により、視覚障害者と晴眼者が「見えること」「見えないこと」を言葉で共有する観賞会を開催。翌日には実施した鑑賞会の内容にコメンテーターや参加者らの意見を交えトークセッションを行い、合理的配慮の考え方について理解を深めた。

(県委託事業)

○鑑賞ツアー

(日時・場所) 2023(令和5)年10月14日(土)第1回10:00～12:30 第2回14:00～16:30
和歌山県立近代美術館 1階展示室

(参加人数) 第1回8人 第2回8人

(演題) 「言葉」で感じる美術館～視覚障害者をつくる美術鑑賞ツアー

(ファシリテーター) 林建太氏(視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ代表) 他同スタッフ
奥村泰彦氏(和歌山県立近代美術館副館長) 他同スタッフ

○トークセッション

(日時・場所) 2023(令和5)年10月15日(日)13:00～14:45
和歌山県立近代美術館 1階展示室

(参加人数) 9人

(演題) 「言葉」で感じる美術館～視覚障害者をつくる美術鑑賞

(コーディネーター)

林建太氏(視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ代表)

(コメンテーター)

衛藤宏章氏(視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップスタッフ)

奥村泰彦氏(和歌山県立近代美術館副館長)

新

⑨大学生主体による人権啓発イベント

103,309円

若者の人権に対する関心を高めるため、大学生が主体となった人権啓発イベントの開催に向けた企画委員会を開催した。

(県委託事業)

○企画委員会(100分/回×10回) ※うち2回は人権に係る研修会実施

(場所) 和歌山信愛大学

(メンバー) 15人(3～4回生)

(企画内容) 講演会、上映会、物品販売等(R6実施予定)

⑩啓発ポスター・人権の詩入賞作品集作成

290,400円

人権の詩及び啓発ポスターの入賞作を作品集に収録、啓発教材として活用するほか、人権の詩のパネルを作成した。

(センター自主事業)

作品集「啓発ポスター・人権の詩」3,000部

人権の詩パネル作成・貸出

3 情報の収集と提供

2,086,313円

センターのホームページや情報誌を通じて、人権に関するあらゆる情報の収集と提供を行うとともに、企業、団体等の要望に応じ、センター登録講師を紹介した。

①ホームページの運営

341,286円

センターの活動や、人権に関するさまざまな情報をインターネットを通じて提供した。

(県補助事業)

新

②ふれあい人権 WEB FESTA

165,439円

ふれあい人権フェスタに毎年参加している団体など人権問題に取り組む関係団体の活動動画等をセンターホームページを通じて動画サイトで紹介した。

(県委託事業)
(公開期間) 2023(令和5)年11月11日(土)～12月10日(日) ※人権を考える強調月間中
(参加団体数) 19団体
(公開内容) ①団体紹介・活動の様子
②団体の活動と人権啓発活動の関連性
③視聴者への人権についてのメッセージ

新

③人権啓発カレンダー台紙データの制作・配布 172,005円

毎年公募している人権の詩や人権啓発ポスターの入賞作品を掲載した、企業や団体情報が印刷できるカレンダーの台紙データを制作した。(県委託事業)

④センター情報誌の発行 1,407,583円

人権に関するさまざまな情報や人権課題に取り組むNPO団体等の紹介、センターの活動・事業案内、啓発記事等を掲載したセンターだより『E.L.F.(エルフ)』を年4回発行した。(センター自主事業)

・『E.L.F.』規格 A4/12ページ、全頁ルビ・音声コード付き
1回あたり5,000部

⑤講師バンク

市町村、企業、各種団体等の要望に対し、女性、子ども、障害者、同和問題などの人権課題について分野別に登録された講師を紹介した。(センター自主事業)

【登録人数】62名 【紹介件数】79件 ※3月末現在(予定含む)

4 人権相談 3,978,888円

人権に関わるさまざまな相談に対し、問題解決の視点から相談者に必要な助言等を行った。(県委託事業)

常設相談 「人権ホットライン」による相談電話に人権相談員等が対応。
(相談日) 毎週月～金曜(祝日除く)
(相談時間) 9:00～16:00

法律相談 弁護士による法律相談(要予約)
(相談日) 偶数月 第2・4木曜
奇数月 第2土曜・第4木曜
(相談時間) 13:00～16:00(1枠40分×4枠)
(相談方法) センター来所による面接相談
または県振興局来所によるオンライン相談

5 センター運営 7,560,844円

事務室使用料のほか公益財団法人和歌山県人権啓発センターの運営に要する経費。(県補助事業)

6 人件費 51,931,040円
(県補助事業)

合計 78,223,339円